

HORIZONTE 2021

FESTIVAL DES DEUTSCHEN FILMS 18-21 NOVEMBER, EUROLIVE

ドイツ映画祭2021 11月18日[木]-21日[日] ユーロライブ

ドイツ映画は今、変化の過程にあります。2021年のドイツ映画祭 HORIZONTE (地平線、視界) の上映作品7本のうち5本は、移民の背景を持つ監督による作品です。ここ数年は新世代の映画人が登場し、従来とは異なるドイツを物語る作品を発表しています。彼らの作品は、ドイツでの生活を自明のことと生きてきた人々とは異なる視点を提示し、ドイツにある多様な現実を光を当ててくれます。この光によって、これまでのドイツ映画の世界では見えなかった“色”が輝き出し、表現がより豊かになります。ドイツの現実に対する眼差しが多様化することは、ドイツ映画の充実だけでなく、私たち自身の“視界(Horizont)”を拓き、ひいては未来の社会を共に構築するための大切な支えを作ります。



© Juerglinge Film

未来は私たちのもの Futur Drei

イラン系移民の両親を持つミレニアル世代の青年パーヴィスは、両親がドイツで築いた安定した快適な環境で育つ。出会い系アプリのデート、レイヴやパーティなどで、地方暮らしの退屈さを紛らわしている。ある日、万引きがバレて、社会奉仕活動のため難民施設で通訳として働くことになったパーヴィスは、イランからやってきた姉弟に出会う。その出会いを通じて、彼らはドイツにおけるそれぞれの未来が平等でないことに気づき始める。1994年生のファラズ・シャリアット監督による自伝的デビュー作。ドイツにおける移民系の青年の成長を描いた本作は、繊細かつポップに多様性を強く肯定する訴えが評価され、複数の映画賞を受賞した。

2020年、92分、ベルシア語、ドイツ語／日本語・ドイツ語字幕付
監督：ファラズ・シャリアット キャスト：ベンヤミン・ラジャブ、ハナフシェ・フルマズディ、アイディン・ジャラリ、マリアム・ザレー、他



© Kineo/Weydemann Bros./Venus Roy Limer

システム・クラッシャー 家に帰りたい Systemsprenger

問題児、9歳のベニーを青少年課の職員は「システム・クラッシャー」と呼ぶ。里親の家庭、グループホーム、特別支援学校—どこにもベニーの居場所はない。実の母親でさえ、反応の読めない娘に強い不安を抱えている。八方ふさがりの状態で、非暴力トレーナーのミヒャがベニーと日常を共にすることになる。彼の方で少女を怒りの渦から解放することはできるのだろうか？ フィングシャイト監督の長編デビュー作はその繊細かつ強烈な演出により、2019年のベルリン映画祭で銀熊賞に輝いた。2020年のドイツ映画賞では8部門でローラ賞を受賞。主演のヘレナ・ツェンゲルは11歳(当時)で女優賞に輝き、ドイツ映画賞歴代最年少の受賞者となった。

2019年、118分、ドイツ語／日本語字幕付 監督：ノラ・フィングシャイト
キャスト：ヘレナ・ツェンゲル、アルブレヒト・シュッパ、リーザ・ハーグマイスター、ガブリエラ＝マリア・シュマイデ、他



© Films Boutique

悪は存在せず There Is No Evil (原題: Sheytan vojvod nadarad)

毎朝早く家を出る男は良き夫・良き父としての生活を送っているが、本当は何をしに行っているのだろうか。殺人など想像できないのに、人を殺すよう命令を受ける青年がいる。恋人の誕生日にプロポーズしようとしている兵役中の若者。開業できない理由がある医師...イランにおける死刑制度にまつわるこれら4つのエピソードはドラマチックな展開を見せ、体制による抑圧下において、個人の自由をどこまで守ることができるのかを問いかける。選択肢が2つしかない中で、人は「抵抗」を選ぶのか「生き残り」を選ぶのか？ドイツ在住のモハammad・ラスロフ監督によるこの問題作は、2020年のベルリン映画祭の金熊賞受賞作。

2020年、152分、ベルシア語／日本語・英語字幕付 監督：モハammad・ラスロフ
キャスト：エーサン・ミルホセイニ、シャガイエグ・シュリアン、カヴェ・アハンガル、アリレザ・ザレバラスト、サラール・ハムゼー、ダリア・モフベリ、マフタブ・ゼルヴァティ、バラン・ラスロフ
字幕協力：東京国際映画祭



© Wolfgang Eichenbach, Sommerhaus Filmproduktion

ベルリン・アレクサンダープラッツ Berlin Alexanderplatz

アルフレート・デーブリンの小説『ベルリン・アレクサンダー広場』は、ライナー・ヴェルナー・ファスビンダー監督によるテレビ映画が知られているが、本作はブルハン・クルバニ監督がそれを現代版にリポートし、移民を中心に据えた3時間を越える長編大作。アフリカからヨーロッパを目指していたフランスは、船が嵐に遭遇した時に、もし無事に上陸できたなら、今後こそは真面目に生きると心に誓う。その願いは叶い、フランスはドイツにたどり着く。しかし不法移民としての生活は過酷で、出会った密売人に麻薬売買に引き込まれる。そんな中、ある女性と出会ったことでフランスは運命を変えようとするが...

2020年、183分、ドイツ語・英語／日本語字幕付 監督：ブルハン・クルバニ
キャスト：ヴェルカー・ブンゲ、アルブレヒト・シュッパ、イェラ・ハーゼ、アナベル・マンデング
配給(日本)：東北新社、STAR CHANNEL MOVIES



© Bavaria Filmproduktion

異端児ファスビンダー Enfant Terrible

1967年、ミュンヘン—弱冠22歳のファスビンダーは劇団「アンチテアター」を率いていた。この無遠慮な若者がいつかドイツを代表する映画監督になろうとは、誰が予想しただろうか。間もなく監督の下に、俳優、取り巻きや恋人などが集まり始め、新作はベルリンやカンヌの映画祭で話題を集めるようになる。だがその無茶な仕事ぶりや麻薬摂取などによって、周囲の人もその犠牲になっていく。オスカー・レーラー監督は、映像の色合いや照明、舞台セットの効果を強く意識した演出により、ファスビンダーの宇宙の深淵に迫る。天才的監督、愛を求めて彷徨う放浪者、過酷なサディストといった芸術家の多様な側面が見事に展開される。

2020年、135分、ドイツ語／日本語字幕付 監督：オスカー・レーラー
キャスト：オリヴァー・マズッチ、カティア・リーマン、ハリ・プリンツ、アレクサンダー・シェアー、エルダル・イルディズ、アントン・ラッティンガー、フェリックス・ヘルマン、ヨヘン・シュロップ、シュニ・メレス、イゾルデ・バルト、他



マリアム エヴィーン刑務所に生まれて Born in Evin

女優としても活躍するマリアム・ザレー監督は、政治犯が収容されるイランのエヴィーン刑務所で生まれた。監督としてのデビュー作となるこのドキュメンタリーで、監督は自身の誕生にまつわる暴力的な状況を探求する。1979年のイラン革命でホメイニ師が権力を握ると、彼は数万人もの反体制派を逮捕、殺害させた。囚人の中には監督の両親も含まれており、二人は数年に及ぶ収監の後、ドイツに逃れた。この体験は、家族の間でも語られることはなかった。現在女優、作家として活躍するザレーが長年の沈黙の壁を破り、カメラを通じて自身の誕生の場所とその状況に迫る。2020年のドイツ映画賞ドキュメンタリー部門受賞作品。

2019年、95分、ドイツ語、ベルシア語、フランス語、英語／英語・日本語字幕付
監督：マリアム・ザレー



© Filmfaust・ChristianKochmann

オライの決断 Oray

妻と喧嘩したオライは、怒りにまかせて彼女の携帯に「タラク」という言葉を残してしまう。イスラム教で「タラク」とは、仮離婚を表す言葉で、夫は妻の元を3か月間離れて過ごすから、夫婦関係を再確認するという決まりだ。敬けんなイスラム教徒オライは、信仰に従って離れた町に引っ越し、リサイクル市場の仕事に就き、現地の信徒団に通い始める。しかしある日、突然妻がオライの部屋に現れる。優先するのは妻への愛か、信仰か？オライは決断に迫られる。本作を通じてメフメト・アキフ・ビュユックアタライ監督は、ドイツにおけるイスラム教徒のコミュニティの等身大の現実を描いて、未知の世界への窓を開く。

2019年、100分、ドイツ語・トルコ語／ドイツ語・日本語字幕付
監督：メフメト・アキフ・ビュユックアタライ キャスト：ゼイジュン・デミルオヴ、デニス・オルタ、ジェム・ギョクタシュ、ミカエル・バイラミ、フェルハット・ケスケン、ファリス・ユズバシオール、カイス・セッティ